

取扱説明書

デフジャッキ

NSD-300L



本製品を使用する前に取扱説明書を注意深く読み、よく理解してから使用して下さい。
この取扱説明書はいつまでも使用できるように大切に保管してください。



取扱説明書が現品と異なる場合は、販売会社まで請求してください。

まえがき

このたびは、長崎のディファレンシャルギヤージャッキをお買い上げ頂きまして誠に有難うございます。


ご使用になる前に必ずこの取扱説明書を注意深く読み、よく理解してから使用して下さい。取扱説明書の中の注意事項及び使用方法等をよく読んでご使用頂かないと、十分能力を発揮できないばかりかディファレンシャルギヤージャッキの落下や人身事故につながりますので、十分理解した上で、正しく使用して下さい。


お買い上げの製品や取扱説明書の内容について、ご質問がある場合は、お買い上げ頂きました販売会社まで問い合わせして下さい。

尚、取扱説明書は大切に使用してください。万一紛失・汚損された場合は速やかに購入の上、正しく保管又は貼付して下さい。

警告

この取扱説明書では「警告」「注意」について次のような定義と警告表示を使用しています。警告表示は安全作業のために重要な事柄です。人身事故や財物損害防止の為の重要な事項が記載されていますので、必ずよく理解してから使用して下さい。

 **警告**・・・取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡又は重症を負う可能性が想定される場合。

 **注意**・・・取り扱いを誤った場合に、使用者が損傷を負う危険が想定される場合及び物的損傷のみ発生が想定される場合。

目次

1.使用目的	1
2.警告・注意事項	1
2-1 警告事項	1
2-2 注意事項	2
3.使用方法及び使用上の注意	3
3-1 始業点検	3
3-2 デフジャッキを使用する条件	4
3-3 上昇及び停止操作	4
3-4 下降操作	6
3-5 終業点検と保管	6
4.定期点検	7
4-1 点検	7
4-2 作動油の種類と交換・補給	8
5.故障と処置	9
6.仕様	9
7.製品保証規定	10

1.使用目的

このディファレンシャルギヤージャッキ(以下デフジャッキと言う)は、ディファレンシャルギヤー(以下デフと言う)の脱着作業に使用するジャッキです。また、デフを載せての洗車・洗浄作業には使えません。

2.警告・注意事項

このデフジャッキをご使用頂く上での人身事故やデフ及び車の損傷を防止する為の重要な事柄が記載されていますので、必ずよく読み理解してから使用して下さい。

2-1 警告事項



1.取扱説明書をよく読み、理解してから使用すること。 重要な警告事項が説明されています。警告事項に従って下さい。 ※重大な事故につながります。
2.操作は、操作方法を熟知した人以外は使用禁止。 ※誤った操作方法が原因で思わぬ事故が発生します。
3.デフが落下しそうな時は、支えないこと。 ※重傷事故の危険あり。
4.純正アタッチメント以外の使用禁止。 ※振動でカイモノが外れ、デフの落下の危険あり。
5.デフの脱着時、大きく揺らさない又、大きな衝撃を与えないこと。 ※デフや車が落下し重傷事故の危険あり。
6.デフの脱着作業時は、自動車の昇降禁止。 ※自動車の落下による重大事故の危険あり。
7.作業中は、昇降部に手を触れないこと又、足を載せての作業禁止。 ※手や足を挟まれ、重傷の危険あり。
8.最低位まで下げて移動すること又、平坦で強固な場所で使用のこと。 ※デフジャッキが傾き、デフの落下の危険あり。

2-2 注意事項

注意

一般的な注意

- 1.使用目的以外の使用禁止。
- 2.能力以上の使用禁止。
- 3.自動車整備以外での使用禁止。
- 4.デフジャッキ及びアタッチメント部の改造は禁止。
- 5.洗車作業での使用禁止。
- 6.オイルは弊社指定のジャッキオイルを使用のこと。重粘度のオイル、ブレーキオイル等は絶対に使用しないこと。

使用上の注意

- 1.デフを脱着しても、車のバランスが崩れないことを確認して使用のこと。
- 2.作業前に必ず始業点検を行うこと。
- 3.デフジャッキの昇降操作中は他の人を近付けたり、わき見運転は絶対禁止。
- 4.保管場所は受け板を最低位置まで下げ、ポンプハンドルは本体側に寄せた状態で屋内に保管のこと。

操作上の注意

- 1.デフのリテーナ部分にデフジャッキのリテーナ取付板を合わせ、確実に固定すること。
- 2.デフジャッキの上昇操作時にデフジャッキで車を持ち上げないこと。
- 3.下降操作前に、デフジャッキ周辺の安全を確認すること。
- 4.急激な下降操作はしないこと。
- 5.脱着操作は車の水平を確認しながら行うこと。

3.使用方法及び使用上の注意

警告

このデフジャッキの操作は、使用方法を熟知した人以外使用しないこと。

3-1 始業点検

毎日、作業前に必ず始業点検を行って下さい。なお点検はデフを載せないで行って下さい。

注意

異常と思われる箇所が発見された場合は、異常箇所の修復を完全に行うまでデフジャッキの使用を禁止して、直ちに販売会社に連絡して下さい。そのままお使いになりますデフジャッキの破損及び重大な事故につながる危険があります。

点 検 箇 所	内 容	点 検 方 法
・受け板 ・受け台 ・アーム・アームバンド ・リテーナ取付板	・変形、破損、摩耗はないか	・目視
・受け板調整ネジ ・角度調整ネジ	・変形、破損、摩耗はないか ・グリースが塗布されているか	・目視
・車輪 ・前車輪 ・後車輪	・スムーズに回転するか ・変形、破損、摩耗はないか	・目視
・アーム部	・円滑に作動し、異音はないか	・目視、聴取
・ポンプユニット部 ・油圧シリンダー部	・油漏れはないか	・目視
・各ネジ部 (ボルト及びナット類)	・変形、破損、緩みはないか	・目視
・止めリング ・割りピン類	・変形、破損、外れはないか	・目視
・デフジャッキ全体部	・変形、破損等異常はないか	・目視

3-2 デフジャッキを使用する条件

警告

- 1.傾斜地や軟弱な場所での使用禁止。
- 2.車はバランスよく安定した状態で保持されていること。また、デフを脱着してもその状態が保持されていること。
- 3.偏荷重での使用禁止。
- 4.脱着の時、車を大きく揺らさないこと。また、大きな衝撃を与えないこと。

3-3 上昇及び停止操作

1) 受け板上昇操作

ツمام(圧カバルブ)を時計方向に回転が止まるまで回し、ポンプハンドルを上下に操作します。

警告

昇降部に手や足を入れないで下さい。重傷事故につながります。

注意

- 1.わき見をしながらの操作はしないで下さい。重大な事故につながります。
- 2.能力以上の使用は絶対にしないで下さい。デフジャッキの破損につながります。

2) 受け板停止操作

ポンプハンドルの上下操作を途中で止めると、受け板はその位置で上昇を停止します。

受け板は荷重を保持したままになります。

注意

受け板を上昇させ、受け板がデフの正しい位置にセットされていることを確認して下さい。
もし合っていなかったら、一旦下降させ正しい位置に調整して下さい。

3) 受け板のセット操作

- 1) デフのリテーナ部がデフジャッキの中央に来るようにデフジャッキの位置を合わせて下さい。
- 2) 角度調整ネジ及び受け板調整ネジを操作して、デフが安定した姿勢になるように受け板をセットして下さい。
- 3) リテーナ取付板(アングル)をデフの大きさに合わせて確実にセットして下さい。

警告

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1. デフが脱落転倒しないようにリテーナ取付板に確実に締め付けられているか確認して下さい。2. セット時の上昇操作の時、自動車を持ち上げないように十分注意のこと。自動車が落下する危険があります。3. 受け板とデフとの高さ位置合わせの時は、必ずデフジャッキを上昇・下降してセットして下さい。
リフト等による昇降でのセットは厳禁です。4. デフを脱着すると自動車の重心が変化します。安全を確認の上、受け板をセットして下さい。 |
|---|

4) 揚程制限

バイパス機構を設けてありますので、最高位に達してもハンドル操作は重くなりませんが、更にハンドル操作を行ってもそれ以上の上昇はいたしません。

注意

最高位に達したら、ポンプハンドル操作は直ちに停止して下さい。必要以上のポンプハンドル操作はデフジャッキの破損につながります。
--

3-4 下降操作

ツマミ(圧カバルブ)を反時計方向にゆっくり回し、デフを下げます。

警告

デフジャッキは必ず移動できる最低位置まで下げて移動すること。また、傾斜や軟弱な場所で使用しないこと。

注意

1. 下降操作をする前に必ず周辺の安全を確認して下さい。重大な事故につながります。
2. ツマミ(圧カバルブ)は、ゆっくり静かに回して下さい。早く回すと載っているデフが急激に下降し、落下転倒の原因となり、重大な事故につながります。また、デフジャッキが破損する場合があります。下降操作は、静かにゆっくり行って下さい。
3. 下降操作を行うとポンプユニット部の圧力が下がります。するとポンプハンドルが下がります。ハンドルを握ってツマミを緩めて下さい。
4. デフジャッキの移動は、必ず手押しハンドルで行って下さい。ポンプハンドルでの移動は、ポンプピストンの故障原因となります。

3-5 終業点検と保管

作業が終了したら、受け板やリテーナ取付板(アングル)、アーム、フレーム部等に付着したゴミ、オイル、グリース等をきれいに拭き取って下さい。また、この時警告ラベル等が汚れて見えなくなったり、デフジャッキ本体に異常が発見された場合には、直ちに販売会社にご相談下さい。

注意

安全のため受け板は最低位置まで下げ、ポンプハンドルは本体側に寄せた状態で屋内に保管して下さい。

4 定期点検

4-1 点検

安全に使用して頂くために、必ず定期点検を実施して下さい。

点検期間	点検箇所	点検項目	点検方法	保守要項
2 週間	・受け板・受け台 ・リテーナ取付板(アングル) ・受け板調整ネジ ・角度調整ネジ	・破損、変形、摩耗 ・回転しゅう動部は スムーズか	・目視 ・触感	・破損、変形、著しい摩耗は交換 ・給油
	・アーム ・アームバンド	・破損、変形、摩耗 ・回転しゅう動部は スムーズか	・目視	・破損、変形、著しい摩耗は交換 ・給油
	・車輪 ・前車輪・後車輪	・破損、変形、摩耗 ・回転はスムーズか	・目視 ・触感	・破損、変形、著しい摩耗は交換 ・給油
	・ポンプユニット部 ・油圧シリンダー部	・破損、変形、摩耗	・目視	・修理
	・ハンドル部	・破損、変形、摩耗	・目視	・破損、変形、著しい摩耗は交換
	・各ネジ部	・破損、変形、緩み	・目視	・緩みは増し締め ・破損、変形は交換
	・止めリング ・割リピン	・破損、変形、外れ	・目視	・外れは組み直し ・破損、変形は交換
3 カ月	・油タンク	・作動油量の確認	・目視	・不足は補給 ※
12 カ月	・油タンク	・作動油の確認		・交換

※ジャッキオイルは、8 ページの 4-2 作動油の種類と交換・補給をご参照下さい。

注意

- 1.カバー等を外して点検した後は、必ず元通りすべてを取り付け、復元をして下さい。
- 2.点検の結果、異常が発見された場合には、直ちにデフジャッキの使用を禁止して、お買い上げの販売会社へ連絡して頂き、処置を受けて下さい。
- 3.ポンプユニット部及び油圧シリンダー部は、増し締めを行わないで下さい。増し締めを行う場合は、お買い上げの販売会社へ連絡して下さい。

4-2 作動油の種類と交換・補給

初回の作動油交換は、3か月経過した時点で行って下さい。

次回からは12か月点検時に行って下さい。

注意

- | |
|---|
| 1.補給・交換用のジャッキオイルは、弊社指定のジャッキオイル又は、下記に示すオイルを使用して下さい。 |
| 2.重粘度のオイル・ブレーキオイル・揮発性のオイル・植物性オイル等は絶対に使用しないで下さい。パッキン・ガスケットの機能が低下し自然降下の原因となります。 |

デフジャッキの油量

型式	総油量 cc
NSD-300L	210

作動油の種類

メーカー名	作動油名
JX 日鉱日石エネルギー	スーパーハイランド [®] 22・SE22
コスモ	ハイドロ HV22
昭和シェル	シェルテラスオイル S2M22
モービル	DTE22・DTEXL22

※補給の場合

給油口(口金)より 2.6cm 下まで給油して下さい。

注意

- | |
|------------------------------------|
| 1.給油・補給は必ず受け板を最低位置まで下げた状態で行って下さい。 |
| 2.油を入れ過ぎますと給油口(口金)から油が吹き出る原因になります。 |

5.故障と処置

「故障かな」と思われる前にもう一度確認して下さい。異常が生じた時は、この取扱説明書をよくお読み頂き、下記の点検をした上で、それでも不具合な場合はお買い上げの販売会社へ相談して下さい。

症 状	原 因	処 置
全然上がらない	(1)ツマミ(圧カバルブ)が完全に閉まっていない (2)オイルが入っていない	(1)ツマミ(圧カバルブ)を確実に閉める (2)ジャッキオイルを補給する ※
途中までしか上がらない	ジャッキオイルが不足している	ジャッキオイルを補給する ※
自然降下する	ツマミ(圧カバルブ)が完全に閉まっていない	ツマミ(圧カバルブ)を確実に閉める
下がりがらない	しゅう動部に給油されていない	しゅう動部に給油する

※ジャッキオイルは 8 ページの 4-2 作動油の種類と交換・補給をご参照下さい。

6.仕様

型式	能力 (kg)	受板最低位 (mm)	受板最高位 (mm)	揚程 (mm)	全長 (mm)	全幅 (mm)	受板傾斜角度 (前後°)	自重 (kg)
NSD-300L	300	150	795	650	1,340	710	前 35° 後 5°	74

※品質向上のため予告なく仕様は変更することがあります。

7.品質保障規定

1) 保証規定

取扱説明書、本体注意書に従って正常な使用状態で保証期間内(納入後一年以内)に故障した場合は、弊社の責任に於いて無償にて修理をさせていただきます。

但し、二次的に発生する損失の保証及び、次の場合に該当する故障は保証致しておりません。

- 1.使用上の誤り、保守点検、保管等の義務を怠った為に発生した故障及び損傷。
- 2.製品の作動機構に悪影響を及ぼす変更や改造を加え、それが原因で発生した故障及び損傷。
- 3.消耗品が損傷し取り替えを要する場合。
- 4.火災・地震・風水害・その他天災地変等、外部に要因がある故障及び損傷。
- 5.指定された純正部品を使用されなかった時に起因する場合。
- 6.日本国外で使用される場合。
- 7.保証請求手続きが不備の場合(例:型式及び機体番号の連絡がないなど)。

尚、本製品及びその付属品に使用されているゴム部品等のあらゆる自然損耗する部品ならびに、消耗部品については、保証の適用は除外させていただきます。

注意

このデフジャッキは洗車仕様になっておりませんので、錆・腐食等の水による保証はいたしておりません。

2)保証請求方法

前記の規定に基づき、本製品の保証請求を行う場合は、お買い上げの販売会社までご一報下さい。

販売会社において必要な手続きを実施致します。

尚、保証の要否は、大変勝手ながら弊社に於いて判断させていただきますのでご了承下さい。

3)アフターサービスについて

- (1)調子が悪いとき……まずこの取扱説明書の『6.故障と修理』の項目をもう一度ご覧になって調べて下さい。
- (2)それでも調子が悪いとき……商品保証規定に従い修理させていただきますので、お買い上げの販売会社へ修理を依頼して下さい。
- (3)保証期間中の修理について…保証期間は納入後 12 ヶ月以内です。商品保証規定の記載内容に基づいて修理させていただきます。
- (4)保証期間後の修理について……有償で対応させていただきます。
- (5)アフターサービスについての詳細、その他ご不明な点は、お買い上げ頂いた販売会社へお問い合わせして下さい。
- (6)お問い合わせ頂く場合は、次の事項をお知らせください。

型式・機体番号・購入年月日・故障状況(できるだけ詳しく)

上記事項を下表に必ず記載してください。

型式	
機体番号	
購入年月日	
購入店名	社名: 担当者: 住所: 電 話:
故障日・状況	年 月 日
故障日・状況	年 月 日

-MEMO-

お問い合わせは

販売会社名

販売会社へのお願い、この取扱説明書はお客様に必ずお渡しください。

長崎ジャッキ株式会社

〒447-0854

愛知県碧南市須磨町5番地2

TEL 0566-41-1482

FAX 0566-42-0709